

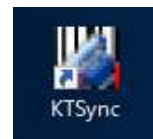
【データコレクターKDC300 接続初期設定及び利用手順 (USB接続)】

(KDCユーザマニュアル (KDC. User_ Manual. Japanese. 3. 06. A3. pdf) より抜粋)

※以下は全てWindows PCでの操作を示しています。現在MacOSは、ノンサポートです。

【準備】 KDCユーザマニュアル P29より

- [1] PC KDC用アプリケーション、KTSyncをインストールする
パッケージ解凍後、Setup.exe を実行しインストール
(KTSync_Driver_Installer_Vxxx.zip)

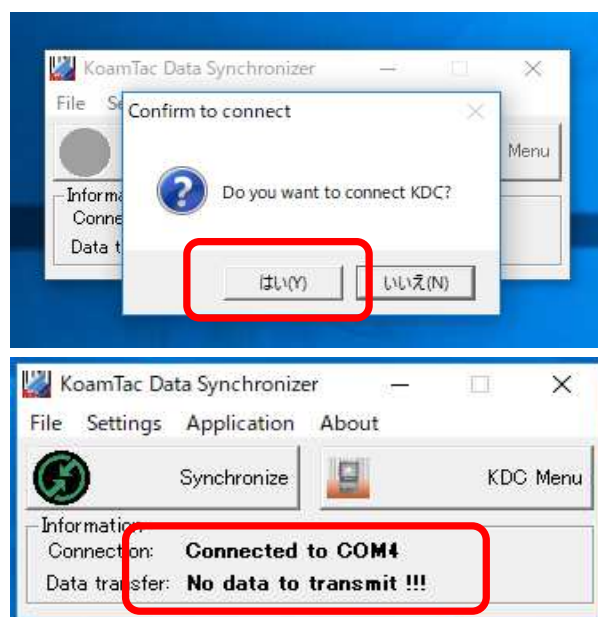


- [2] KDC300 PCのUSBポートに、KDC300を接続する。
※注意：必ずKTSyncを先にインストールし、その後にKDC300をPCに接続して下さい。
PCで正常に認識されると、WindowsのデバイスマネージャーでCOMポートが確認出来る。

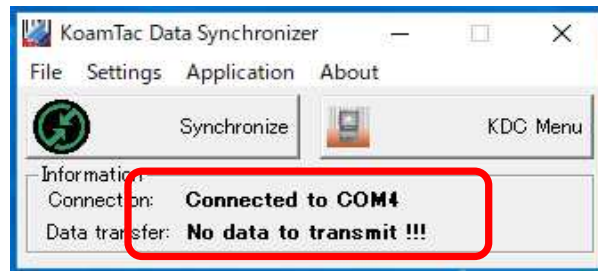
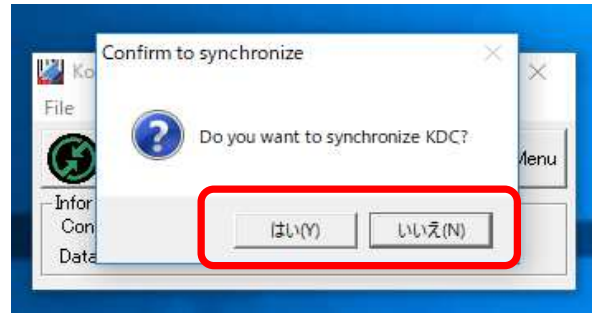


【データ転送設定】 KDCユーザユーザマニュアル P88より

- [1] PC KTSyncを立ち上げKDC300と接続をする
※注意：KDC300は、必ず1台ずつ接続及び同期して下さい。
複数台同時に接続しますと、データが混在し壊れます。



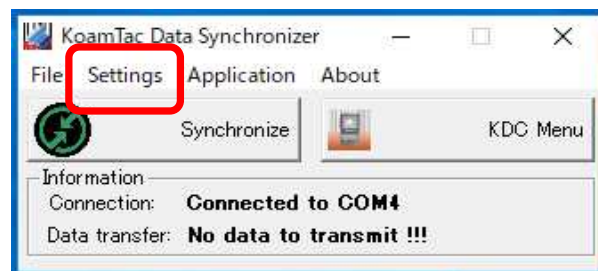
[2] PC 接続時に同期するかを指定する

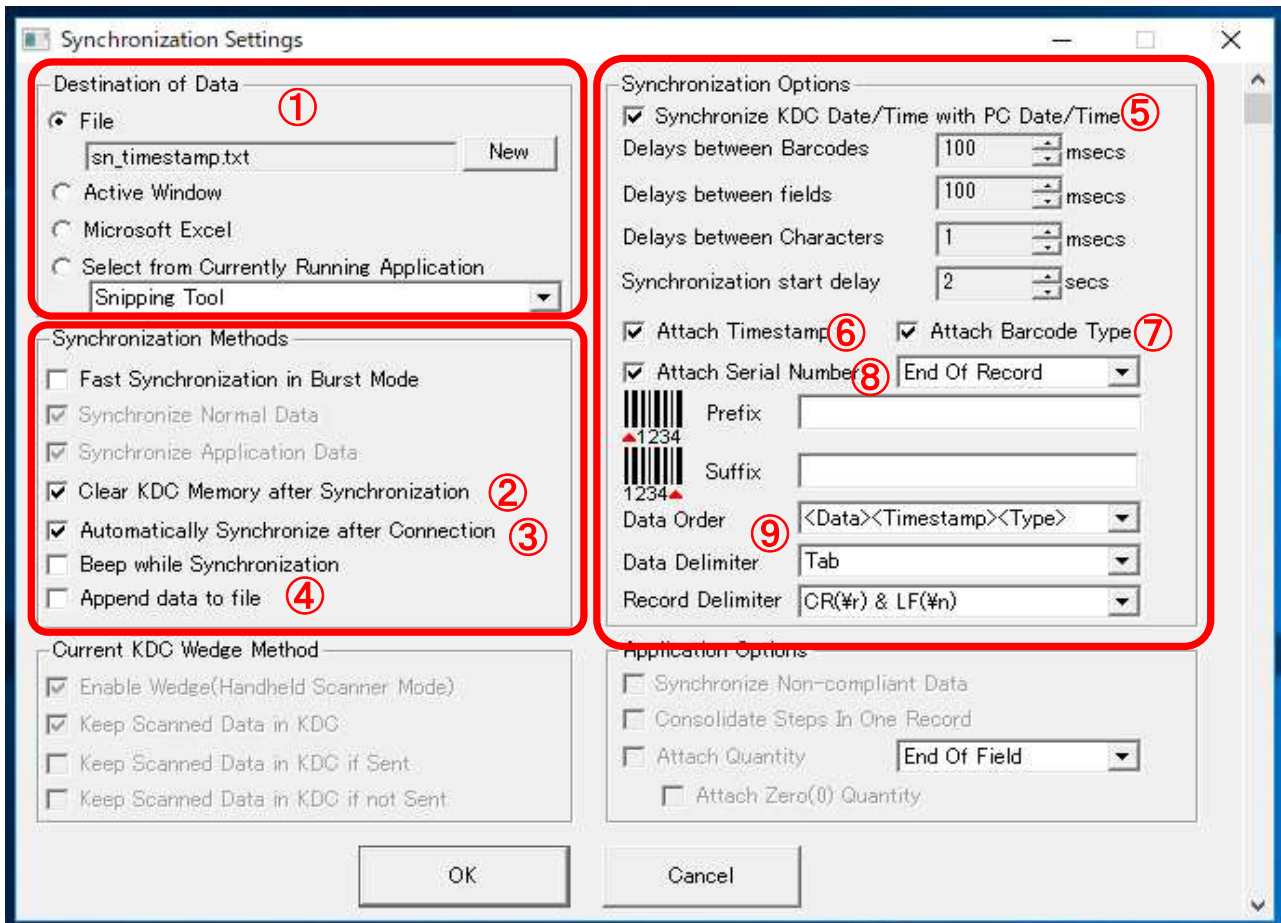


この例では、
[はい]を選択したが
初期状態(データ無し)のため
データ転送されなかった

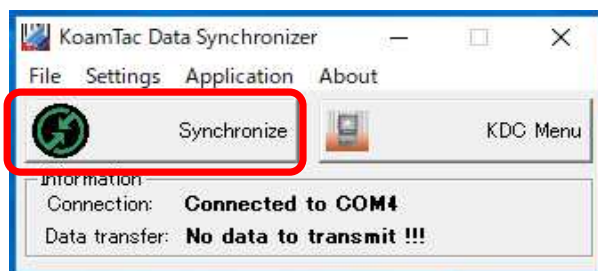
[3] PC 各種同期のための設定をする

KTSyncの [Settings]-[Synchronization] を選択





- ① [Destination of Data] で、同期データの保存方法を設定
(指定ファイルへ出力、ActiveWindowへキーボードのように出力、Excelへ直接出力、指定した実行中アプリケーションへの出力)
ファイル出力の場合、デフォルトでは「C:\myData」の下に日時名のフォルダ、ファイルが出来る。
- ② [Synchronization Methods]中の [Clear KDC Memory after Synchronization]
PCとデータ同期後、KDC内のデータを自動消去する。
(これをチェックしていない場合は、KDC本体で[Reset Memory]で消去、または、KTSyncトップメニューの[File]-[Erase KDC Memory]により消去する。)
- ③ [Synchronization Methods]中の [Automatically Synchronize after Connection]
PCに接続と同時にデータ同期する。
(これをチェックしていない場合は、その都度メインメニューの [Synchronize] をクリックしてデータ同期する。)
※KDC300をUSB接続をしたままでバーコードデータを読むと本設定に関わらず随時転送される。



- ④ [Synchronization Methods]中の [Append data to File] をチェック
①の[Destination of Data]で指定したファイルにデータを追記していく。
(デフォルトでは、ファイル名がタイムスタンプのファイルが同期の都度出来る。)
- ⑤ [Synchronization Options]中の[Synchronize KDC Time with PC Time when Connected]
KDC300を接続した際に、PCの日付と同期する。(基本的にチェックしておく項目)
(これを設定しない場合は、KDC300本体の設定メニューから設定する。)
- ⑥ [Synchronization Options]中の[Attach Timestamp]をチェック
バーコードデータとともに、タイムスタンプを出力する。
- ⑦ [Synchronization Options]中の[Attach Barcode Type]をチェック
バーコードデータとともに、バーコードの種別を出力する。
- ⑧ [Synchronization Options]中の[Attach Serial Number]をチェック
バーコードデータとともに、KDC300のシリアル番号を出力する。
シリアル番号出力場所を、データレコードの先頭または末尾から選択。
- ⑨ [Synchronization Options]中の下記項目によりデータ区切り等を設定
[Data Order] データの記録順の設定。(Data, TimeStamp, Type)
[Data Delimiter] データの区切り符号の設定。(TAB, Space, Comma, Semicolon)
[Record Delimiter] レコードの区切り設定。(None, CR, LF, TAB, CR&LF)

その他の設定詳細は、マニュアルをご参照ください。

【データをExcelに出力する際の注意】

バーコードデータをExcelに出力した際に、Excelのデフォルトでは[セルの書式設定]が[標準]のため、バーコードデータが指数で表現される場合がある。(例：4.90341E+12)
この場合、Excelの[セルの書式設定]で、設定を[数値]にすると実際のデータが表示される。
(上記例：4903409151235)

【KDC本体の操作】

メニューモード起動方法： KDC300本体の上下ボタンを同時に押す。

【本体言語の切替方法】

本体のメニューの言語を切り替えることが可能。

[メニュー] - [システム設定] - [言語]

[英語 / フランス語 / イタリア語 / スペイン語 / 韓国語 / 日本語] から選択可能。

【本体データの確認】

本体に読み込まれているデータの件数、データ内容の確認方法。

[メニュー] - [データ表示]

データそのものと、画面右上に [データ番号/総件数] が表示される。

【読み込みデータの重複排除】

既に読み込んでいるデータが読み込まれた場合、拒否する設定。

[メニュー] - [データ処理設定] - [重複チェック] - [有効/無効]

[有効]にすると、重複データを拒否します。

【データ読み込み時の表示変更】

データを読み取った際のディスプレイ表示項目の変更。

[メニュー] - [システム設定] - [画面表示]

[時間 & バッテリ / タイプ & 時間 / タイプ & バッテリ / メモリー状態 /
バーコードのみ / グラフィック] から選択

【KDC本体の初期化】

本体設定をリセットしたい場合の操作。

[メニュー] - [システム設定] - [工場出荷設定]

を指定することにより、KDC300を工場出荷状態に戻す。

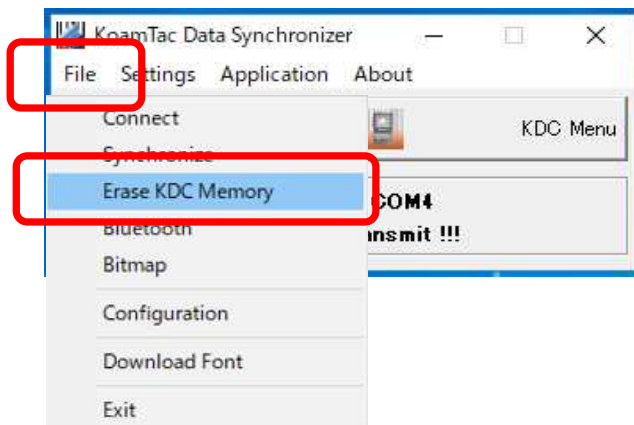
【データの消去方法】

※注意： KDC本体から削除したデータは、いかなる場合にも復元出来ません。
データを削除する際には、必ずPCにデータが保存されていることを確認して下さい。

【KTSync (PC)からのデータ消去方法】

Excelへのデータ出力が正常に終了したのを確認してから、KDC内のデータを削除する。

KTSyncの [File] - [Erase KDC Memory] を指定しデータを消去する。



KDC本体の液晶画面に以下のメッセージが表示され、データが消去される。

「お待ちください」 → 「0データ保存済み」

【KDC本体でのデータ消去方法】

KTSync (PC)からではなく、KDC本体でデータを消去したい場合の手順は、下記の通りです。

[メニュー] - [システム設定] - [メモリーリセット] - [メモリー]
を指定することにより、データ消去。

**繰り返しとなりますが、KDC本体から削除したデータはいかなる場合にも復元出来ません。
データの削除は、必ずデータがPC等に保存されていることを確認してから実施して下さい。**

【各種ドキュメント】

KDCユーザマニュアル、同期ソフトKT Sync等は、下記URLよりダウンロード可能です。

http://businessconnect.co.jp/business/product/barcode/barcode_download.html

以上